

平成 23 年 8 月 25 日  
電源開発株式会社

## 洋上風力発電システムの実証研究の実施について ～北九州市沖合での洋上風車の実証研究開始～

電源開発株式会社（社長：北村雅良、以下「J パワー」）は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）との共同研究事業として、福岡県北九州市の沖合にて、洋上風力発電システム技術の確立に向けた「洋上風力発電システム実証研究（以下、本研究）」を実施いたします。

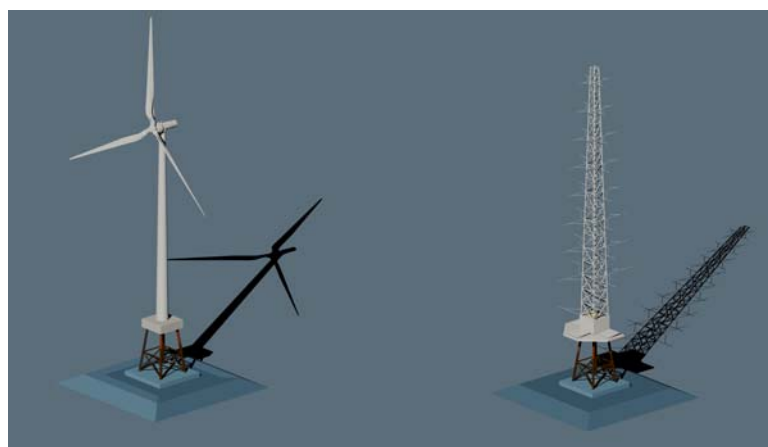
本研究は、平成 21 年 8 月より J パワーが行っている「洋上風況観測システム実証研究※」（以下「観測システム」）の実施海域（北九州市沖合約 1.3 km、水深 14.5m）において、ローター直径約 83m の洋上風車を 1 基設置し、観測システムで得られる気象・海象等の観測データを活用しながら、着床式洋上発電設備の設計、施工、運転保守技術の開発と実証を行うとともに、当該設備が環境に与える影響について調査を行うものです。

研究期間は平成 23 年 8 月から平成 27 年 2 月で、今後、必要となる許認可や系統連系等の準備を進めていきます。

J パワーは、再生可能エネルギーの活用を積極的に推進しており、洋上風力発電の実用化に向けて研究に取り組んでいきます。

### ※洋上風況観測システム実証研究

平成 21 年 8 月から平成 26 年 2 月にかけて、NEDO からの委託事業として、J パワーが独立行政法人港湾空港技術研究所、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社と共同で実施しているもので、当該海域に洋上風況観測塔を設置し、風況、波浪等の気象・海象条件の把握などを行う。



洋上風力発電設備（左）と洋上風況観測設備（右）のイメージ図

以 上